

# 一 般 教 育 訓 練 明 示 書

講座の名称	図書館情報メディア研究科図書館情報学キャリアアッププログラム														
実施方法	① 通学（昼間・ <b>夜間</b> ・土日） ② 通信 スクーリング(回数 回)														
指定講座番号	1	3	3	2	8	—	1	4	1	0	0	2	—	8	
講座の創設年月日	一般教育訓練給付金対象講座の指定期間		過去一年の講座実績	入講者数(累積)(2人)	修了者数 (1人)										
	平成23年 4月 1日		平成29年 3月 31日まで												
訓練期間	24か月				総訓練時間	450時間									
1. 教育訓練目標															
①取得目標とする資格の名称、目標レベル				学位「修士(図書館情報学)」(筑波大学大学院学則第45条)											
②①に係る資格・試験等の実施機関名称				筑波大学大学院図書館情報メディア研究科											
③当該資格等を取得するための要件または受験資格等				①講義科目を20単位以上、演習科目を10単位以上修得すること。 ②修士論文を提出し、論文審査と最終試験に合格すること。											
④当該技能・知識の習得が必須又は有利となる職種・職務及び習得された技能・知識が活用されている業界と活用状況				図書館や文書館、企業・機関の情報提供部門など、情報を管理・提供する機関・組織に勤務している者											
2. 教育訓練の内容															
教科 (カリキュラム)				時間	使用教材名										
学術コミュニケーション論				30	授業の際に適宜資料を配付										
デジタルライブラリ				30	"										
デジタルコンテンツ論				45	"										
情報分析				30	"										
情報活用				30	"										
情報表現法				30	"										
学校図書館経営				30	"										
図書館サービス論				45	"										
教育文化政策論				15	"										
ドキュメント管理				30	"										
図書館施設計画論				30	"										
ライブラリー・ガバナンス論				30	"										
公共経営論				15	"										
LIS研究の最新動向				30	"										
研究の手引き				30	"										
調査分析法				30	"										
文献購読Ⅰ				30	"										
文献購読Ⅱ				30	"										
特別演習a				30	"										
特別演習b				30	"										
3. 受講者となるための要件（この講座を受講するために必要とされている条件など）															
①受講するに当たって必要な実務経験等				出願資格として、社会人として3年以上の実務経験を持ち、現職のまま志願すること。											
②受講者が受講に最低限有しておくべき資格・技能・知識等の内容及びその水準				①大学(4年制)を卒業した者。又は、卒業見込みの者。 ②学士を取得した者。又は、取得見込みの者。											
③その他				なし											

# 一般教育訓練明示書

4. 教育訓練の受講の実績及び目標達成の状況					
<b>(1) 資格取得状況</b>					
① 昨年度内の受講修了者数	1	人			
② ①のうち目標資格の受験者数	1	人	受験率(②/①)	100.0	%
③ ②のうち合格者数	1	人	合格率(③/②)	100.0	%
④ 上記②・③の回答者数	1	人			
<b>(2) 受講修了者による講座の評価等</b>					
① 回答者総数	1	人			
② 受講開始時の就業状況等	1 正社員	0	人	②A: 就業者計	1
	2 非正社員、派遣社員	1	人		
	3 その他の就業(自営業等)	0	人		
	4 学生	0	人	②B: 非就業者計	0
	5 求職中	0	人		
	6 その他(主婦、無職等)	0	人		
③ 就業中の受講者による講座の評価	1 処遇の向上(昇進、昇格、資格手当等)に役立つ	0	人	③の回答数合計 ※②Aと同数(又はそれ以下)	1
	2 配置転換等により希望の業務に従事できる	0	人		
	3 社内外の評価が高まる	1	人		
	4 円滑な転職に役立つ	0	人		
	5 趣味・教養に役立つ	0	人		
	6 その他の効果	0	人		
	7 特に効果はない	0	人		
④ 就業していない受講者による講座の評価	1 早期に就職できる	0	人	④の回答数合計 ※②Bと同数(又はそれ以下)	0
	2 希望の職種・業界で就職できる	0	人		
	3 より良い条件(賃金等)で就職できる	0	人		
	4 趣味・教養に役立つ	0	人		
	5 その他の効果	0	人		
	6 特に効果はない	0	人		
⑤ 受講者の就業状況	1 受講中又は受講修了後3か月以内に就職した	0	人	⑤の回答数合計 ※②Bと同数(又はそれ以下)	0
	2 受講修了後3～6か月以内に就職した	0	人		
	3 受講修了後6～12か月以内に就職した	0	人		
	4 就職していない	0	人		
⑥ 講座の全体評価	1 大変満足	0	人	⑥の回答数合計 ※①と同数(又はそれ以下)	1
	2 おおむね満足	1	人		
	3 どちらとも言えない	0	人		
	4 やや不満	0	人		
	5 大いに不満	0	人		
5. 教育訓練の受講による効果の把握及び測定の方法並びにそのレベルを受講者に対して明らかにするための具体的な方法					
1に掲げた教育訓練目標に対する技能・知識のレベル到達度の把握・測定方法	①中間発表を行う。 ②履修科目の成績判定については、5段階(A+, A, B, C, D)に分けて評価を行い、Dを不合格とする。				
(通信制講座の場合) スクーリングの実施場所、時期、期間・回数					
6. 修了を認定するための基準並びに修了を認定する時期及びその方法					
①講義科目を20単位以上、演習科目を10単位以上修得すること。 ②中間発表を行う。 ③修士論文を提出し、論文審査と最終試験に合格すること。					

# 一 般 教 育 訓 練 明 示 書

## 7. 受講中又は修了後における受講者に対する指導及び助言並びに支援の方法

(1) 受講中の者に対する習得度・理解度に関する具体的な助言・指導の方法	専任教員については、オフィスアワーを設定し学習相談に応じている。 1年次の7月末に主指導副指導教員を決定し指導を徹底している。
(2) 受講中又は修了時における資格取得・就職への具体的なバックアップ体制 (例: 資格取得関連情報や資格関連職種の求人情報の提供方法、早期就職に向けた具体的な相談体制の整備状況)	基本的には現職者であるので就職へのバックアップはないが、全学的なキャリア支援を受けることは可能である。

## 8. その他の事項

指定教育訓練実施者名 及び代表者名	国立大学法人 筑波大学	(代表者名: 学長 永田 恭介)
住所及び連絡先	茨城県つくば市天王台1-1-1	TEL 029-853-2111
施設名称及び施設長名	筑波大学大学院(夜間大学院)	(施設長: 学長 永田 恭介)
住所及び連絡先	東京都文京区大塚3-29-1	TEL 03-3942-6816
給付制度担当部署・者	筑波大学図書館情報エリア支援室大学院教務	(担当者: 佐藤 優子)
連絡先	TEL 029-859-1053	

一般教育訓練経費 支払い方法 ① 一括払 ② 分割払 ③ <span style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 2px;">両方可能</span>	1. 一般教育訓練給付金の対象となる経費 (① + ②)	817,800 円
	① 入学料 (税込額) (※割引・還元措置を実施した場合にはその差引き後の税込額とすること。)	282,000 円
	② 受講料 (税込額) (※割引・還元措置を実施した場合にはその差引き後の税込額とすること。)	535,800 円 (うち、必須教材費 0 円)
	2. 一般教育訓練給付金の対象外となる経費 (① + ② + ③ + ④)	0 円
	① 副読本代(税込額)	0 円
	② 実習等に伴う交通費・宿泊費(税込額)	0 円
	③ 施設維持費(税込額)	0 円
	④ その他(法人への寄付金、PCの損害保険料、情報誌代) (税込額)	0 円
3. 総額 (1+2) (税込額)	817,800 円	

### [ 特 記 事 項 ]